東京歯科大學同窓會報

東京都千代田区神田三崎町一ノ七
発行所　東京歯科大学同窓会
編集兼発行人　加藤倉三
電話九段(33)1000

# 高松宮、同妃兩殿下をお迎えして
# 盛大な式典目前に迫る
## 多彩な行事を豫定して準備着々成る

創立所謂の通り來る十一月四日の式典を中心に、三、四、五の三日間水道橋畔母校に繰り拡げられる盛大な創立六十周年記念祝賀行事の壮図が準備委員会の下で着々進捗し、同窓諸賢の絶大な支援の下に空前の盛典が予想されている

十月二十九日に市川運動場で開催される運動会を皮切りに多彩な祝賀行事の数々が次のスケジュールの如く予定されている

殊に四日の式典当日は高松宮御夫妻の御臨席を始めとし内外名士多数の祝辞を得ることになっている

準備委員一同も多数会員諸氏の御参会を得て、共にこの慶びを頒ち、いやが上にも盛大な式典たらしめ度いと衷心より念願している

目下準備委員会の下で着々進捗中の六十周年記念祝賀会は学校総収約百五十万円を以つて挙行されている。行事の内容は大体次の如し

### 一、記念祝賀式典と午餐会

十一月四日を期して高松宮御夫妻の御臨席並び内外の名士の祝辞を得て本学ホールにおいて式典を挙行する、これはただ単に本学の祝賀に止らず歯科学の立場を汎く内外に紹介する意味のもとに行われる

### 二、同窓校友教職員の表彰

大学創設に当つて協力功労のあった同窓校友および永年勤続の教職員を対象として行われる。

### 三、物故した同窓校友同職員の慰霊

十一月三日の同窓会当日に行う

### 四、本學記念アルバムを調製頒布

水道橋の大学、図書、市川の予科図書館の総写真を写真として、和洋問文の解説を附し、一万部調製し内外の関係学校方面、同窓に頒布する

### 五、同窓會總會と講演會

十一月三日は同窓総会、引続き各教授、非常勤教授が、歯科学および本学の六十年間にわたる歴史について講演される

### 六、展覧會と校内開放

十一月三日及び四日は同窓及び関係者に、五日(日)六日(月)は一般に校内を開放する。即ち各研究室の実験の模様をはじめ、新設の第四病棟、第一教室の「口腔内科」、第二教室の「口腔外科」、第三教室の「歯科大学の歴史」、第四教室の模型材料の製作過程展示などが開催される

### 七、記念陸上運動會

十月二十九日(日)には市川運動場で学部、予科、同窓が一体となって盛大に運動会が行われる(雨天順の際は翌日)

### 八、建築物の清掃装飾

同窓会を図として校内、校外を清掃し外観も一新させる予定

### 九、準備

右のためには同窓会役員に実行委員として就任を願い、更に各支部長より推薦の準備委員を全国的に参画し、準備の完璧を期している。

一方校内においては全教職員は校内準備委員となり着々準備を進めている。

創立六十周年記念祝賀会役員名簿

会長　栗村鶴吉

顧問　斎藤久・松井陳弘

準備委員長　栗本直彦

副準備委員長　西村鶴治・北野宗一

幹事　斎藤久・松井陳弘

常任事務委員の事務分担（○印主任）

会計　○入江義次・藤一学

庶務　○渡辺昌夫・市川鶴吉・山本貞雄・横本元

外交　○新関村次・山崎謙・田中元・横内常三郎

宣伝　○上田四三・大熊大学二・向井喜男・中井武一郎

募金　○若槻洲・鹿島俊雄・何村弘・北原源次郎・宮原定栄・斎藤初太郎・大塚博美

校内には校内準備委員が委嘱され校内準備委員長　斎藤久、副準備委員長　松井陳弘

### 支部長各位に御願い

公私共に御多用の中を、絶対変らぬ校愛をもつて、常に本学のため絶大なる御協力願つております事は誠に感謝に堪えざる所であります

今回の母校創立六十周年記念祝賀に当つても並々ならぬ御労苦のことと御察し申し上げますが今一層の御奮闘の程切に御願い致します

さて別紙所載の通り来る十一月三日、本学一般総会当日午後四時より支部長会を別個開催し、親しく一地方の声を伺わせて頂き度いと存じます。何卒御出席下さいます様御願い申し上げます

## 本學六十周年記念祝賀會にアメリカ歯科醫師會長アダムス博士より祝辞到着
### ——明春初頭アメリカ歯科使節團來朝の豫定——

十月四日到着のアメリカ歯科医師会長ライリップ・E・アダムス博士より東京学長宛の書簡には来る十一月四日挙行予定の本学六十周年記念祝賀式に対する祝賀な祝辞が述べられてあった。なお最近しばしば伝えられたアメリカ歯科使節団の来朝がこの機会によって明瞭早々に実現することが確らかとなった。貴学の益々発展に歌出しておく。

一九五〇年九月二十六日
東京歯科大学長　栗村鶴吉博士殿

お手紙及びジャパン・タイムスの新聞をありがとう御座いました。同封の御書簡は遠くは日本に於ける歯科医学の現況を、また既に東京歯科大学のこれに対する貢献を一層明確に知る上に大変参考になりました。

貴学の六十周年記念祭に際し、貴下を通じ、アメリカ歯科医師会の貴学よりの祝賀を東京歯科大学の教授各位、同窓各位並びに学生諸君に御伝達申上げたいと存じます。

御承知の如く日本占領軍総司令官とアメリカ歯科医師会との協力により歯科使節団は明一九五一年初頭に貴国へ派遣されるはずであります。日本に於ける歯科医学の水準向上のために既にその結についておる諸々なる仕事が更に一層の飛躍を期待されますようにアメリカ歯科医師会は能う限り精一杯に貴下を通じ、貴学に協力申上げる可き約束申上げ度いと存じます。敬具

フイリップ・E・アダムス

## 慶應義塾大學との提携成る

去る六月十八日、母校は慶應義塾大学と提携して共栄互いに相助け合つてゆく旨、両大学の間に話合いが成立した。

由来本学は慶應義塾大学とは古くからの因縁を有している。高山紀齋先生は明治二年福澤諭吉を出て間もなく慶應義塾に学び後渡米して歯科に入った。また血脈守之助先生が明治三十二年慶應を卒業し一時東京歯科医学校に学ばれたことは周知の通りである。蒔田英世博士が高山歯科医学校の講師を経て明治三十一年歯科研究所に入所したが当時の所長は後の慶應医学部の創立者初代医学部長の北里柴三郎博士であった。蒔田博士の紹介で高山先生は後の慶應医学部の出身で現在慶應出身の評議員である。同じく本学出身の理事石河敬武氏は慶應出身の理事である。また本学出身の藤原小林寿一氏は慶應出身で同出身の評議員である。

本学出身の理事浜野知雄氏は血脈先生の女婿であるが慶應医学部の出身で現在慶應出身の評議員である。

慶應の研究室で研究したか或は慶應に勤務し又を提出して学位を得た者が多数にある。

本学出身の理事浜野知雄氏は血脈先生の女婿であるが慶應医学部の出身で現在慶應出身の評議員である。同じく本学出身の理事石河敬武氏は慶應出身の理事である。また本学出身の藤原小林寿一氏は慶應出身で同出身の評議員である。

既に本学の学部、予科を通じて教授として勤務する者のうち慶應出身或は現に慶應に勤務しておられる者もまた多数である。また慶應で歯科学を担当しておられる岡田藤教授及び正木正助教授が本学の出身であることはいうまでもない。

このように古くを通じて既に深い関係にある両大学の提携に刮目して改めて緊密一層の友好と互敬とを約束する握手が正式に成立したことはまことに慶賀に堪えない次第である。

## 第五六回總會通知

在記次第により母校創立六十周年記念祝賀行事の一環として本会第五六回の総会を開催致します、多数同窓諸賢の御来会を切望いたします

記

一、日時　十一月三日(文化の日)
　自午前九時—至午後五時
一、場所　東京歯科大學

次第

自午前九時—至午前十時
評議員會並びに總會
　庶務、事業、會計報告
　議事
自午前十時—至正午
講演（母校創立六十周年記念講演）
演題「過去六十年間に於ける歯科學の進歩」
演者　齊藤、杉山、大井、北村、松宮、米澤各教授
自正午—至午後一時
休憩
自午後一時—至午後一時三〇分
物故同窓校友慰霊式
自午後一時四〇分—至午後三時四〇分
臨床座談會
講師、臨床關係教授、一般會員よりの質問歓迎
自午後四時—至午後五時
支部長會
機械材料の展覧、即賣

昭和二十五年十月
東京歯科大學同窓會
會頭　榎本美彦

會員各位

### 御案内

東京歯科大學創立六十周年記念祝賀會を左の如き次第で挙行致します、御参會下さるよう御案内致します。

十月二十九日（日）午前九時より
運動會於市川運動場（雨天順延）
十一月三日（文化の日）午後一時
物故同窓慰霊式
十一月四日（土）
午前十一時　式典
同窓校友職員の表彰
午後一時　午餐會
十一月五、六日午前九時より
校内開放展覧會

## 昭和二十五年度文部省科學研究費及び科學試驗研究費交付題目決定さる

昭和二十五年度文部科学研究費ならびに科学試験研究費交付の研究種目は、本総合研究一、各個研究二十二研二十三研で、本学関係はつぎの通りである。

(一)文部省科学研究費の分（総位千円）

(イ)根管治療の病理的研究
　教授　松宮　誠一（二〇）
(ロ)歯髄組織に関する臨床病理学的研究
　教授　関根　永滋（二〇）
(八)機能と歯科との関係
　教授　北村　勝爾（二〇）
(二)口腔の手術による治癒の着色の変化に関ての研究
　助教授　中村　保夫（二〇）
(ホ)咽喉並に鼻腔の腫瘍手術に関する組織学的研究
　教授　米沢　和一（二〇）
(ニ)科学試験研究費の分（単位千円）
(イ)歯科材料の改善に関する研究（特に合成樹脂を用いる歯科材料の研究（二七〇）
　代表者　本学教授　松宮　誠一（分担者）
　東京歯科大学教授　藤原　泉平
　同　教授　青山　正一
　同　助教授　横関　英一
　東京大　教授　北村　勝爾
　同　教授　松宮　誠一
　同　教授　金竹　哲也
　京大　教授　前田　玄
　慶大　教授　永井　一夫
　日大歯　教授　
(ロ)発化物質由来オの癌性性に関する信頼度銀的研究
　教授　松宮　誠一（二〇）
(八)発化物による癌学的の研究
　教授　米沢　和一（二〇）

## 同窓各位に告ぐ

別面所報の如く、来る十一月三四、五の三日に盲り盛大な祝賀行事が行われることとなり御同慶の至りである。殊に同窓諸氏の絶大な御支援の結果、着々資料の集る日際に近づきつつあるが、未だ御協賛なき方は是非共一層の御協力あらんことを切望する次第である

# 研究

## 北關東斑狀齒地帶の患者並に水質調査報告

東京歯科大学微生物学教室
米澤和一
群馬県利根郡沼田町　宮下廣吉
新潟県　片野利三郎

（イ）發見の經緯

斑狀齒の發見は一九二六年ブラツク及マツケイ以來アメリカ各地において次々に報告せられた。本邦においても一九二六年關井が廣岡縣下で発見報告して以來、多くの発見があるが、いづれも西日本各地におけるもので、東北日本におけるものは今回の我々の発見を以て嚆矢とする。

発見地は、群馬縣利根郡白沢村岩藤部落、及び同郡新治村湯宿温泉であつて敷地より宮下廣吉及び片野利三郎によりすぐす発見されていたものであつたが一九五〇年八月廿二日以降米沢氏の本格的調査の結果、飲料水中の弗素の断定、学童歯齒組織狀態の統計的調査、その他により、地方病性斑狀齒發病不全能型ち「斑狀齒」である事を確認したのである。

我々の発見と相前後して朝木縣日光町及塩原・那須温泉等における斑狀齒の発見報告が同縣矢内氏によつて行はれた。後地方におけるものも、我々の飲料水中弗素分析により、郷土斑狀齒であると推定され、ここに在來東北日本に報告のなかつた「斑狀齒」の存在は、法定的確実となつた訳である。

（ロ）風土及び歯齒組織

白沢村岩藤部落は上越線沼田駅よりバス五十分戸数四二、利根の支流片品川右岸に、湯宿温泉は後閑駅よりバス四十分戸数約百三十戸で利根の支流薄谷川左岸に在り、三峰山塊の東端、山間の渓谷地帯で共に那須火山脈に属している。湯宿は輝石安山岩及びその変質物から成り、岡部に第三紀層及び洪積層を頂き、岩藤は洪積層でそこから東北方に第三紀層、砂岩、蛇紋岩等の火山断層が顕れているいづれも地質学的に弗素含有と関係が深い。

又地下水の弗素濃度は風土関係により大いに左右されるものであつて、飲料水の分析に就てもこの観点から、そして年数回分析を行ひ度い所存であり今後も引続き分析研究したいと思う。

岡地区における学童の歯齒組織率は乳歯・永久歯共にやや低いことが明にされたが、その場合特に斑狀齒程度の高い湯宿地区の方が程度の低い岩藤地区よりも歯齒組織の発育が低かつたことに注意を向けるべきである。之乳歯よりも永久歯における組織率の方が更に低かつたこと勿論である。但し川妻の如く、岡村湖五郎家の如き斑狀齒一家の調査所見では九人兄弟で、在学八人中六人には歯齒組織を全然認めなかつた。十二歳の姉の乳歯に一本、廿一歳の姉の臼歯に三本の歯齒を認めたに過ぎず、同一の飲料水を飲用して同一の生活環境にあつた兄弟姉妹の如く、四十二歳の部落内でも同一水系の十一戸に限局して強度の発病が現れ全然白歯、宣霊欠損等が大部分を占めていた。

（ハ）斑狀齒の種別と分布

斑狀齒の種別に就ては一九三四年ブイーンの分類があるが、本邦は本邦において使用されて来たものを参照して、鬼頭・光沢・喰酒・線條齒、斑点狀齒、地図狀齒、宣霊欠損齒の八段階に分ける。

岡地区における斑狀齒の分布率は湯宿において七七%、岩藤では四六%で、前者は在來本邦で報告されている発現率中でも高率を示す部類に入り、歯齒組織も後者より低い。但斑狀齒程度のものが多かつた反之、岩藤部落では軽微の程度の斑狀齒が多く、四十二戸の部落内でも同一水系の十一戸に限局して強度の発病が現れ全然白歯、宣霊欠損等が大部分を占めていた。

（二）飲料水の弗素所見

さて湯宿地区の温泉水弗素含有量は、二・〇―二・四P・P・M（後略）で岩藤部落水源の一・二―一・八よりずつと多いが、温泉水は専ら炊事のみに使用し他は弗素濃度低い〇・三の清水を使つている一方、岩藤部落飲料水では他に水源を求め得ず、六〇年来飲料水用一切の水に依存していたのである。尚湯宿に岩藤地区においては宣霊の欠損に現はれた斑狀齒発病に比例して指摘される鬼頭

# 母校創立六十周年記念
# 陸上運動會

## 十月二十九日午前九時、市川運動場にて
## 同窓諸氏の御來場を歡迎（雨天順延）

來る十月二十九日（日）市川市齋藤母校創立六十周年を祝し、記念行事の挙行として盛大な運動会が開催されることになつた

母校の全学生（歯部、専門学校予科、薬学士学校）教職員と同窓校友一体となつて、秋空の下に愉快な一日を共に過し、母校の栄や栄か発揚ごう、というのが主目である

駅伝を主とした市対抗運動会ではなく、同窓諸氏並びに親族にも参加して頂く様にいろいろと面白い計画もあるとのこと、多数参加の御家族連れにての御参加を御待ちしている

また市川の手科、市川病院等の最近の姿を御存じない方はこの機会に数年来々是非御来会をおすすめする次第である

（写真は市川駅下車、京成電車駅下車が御便利　（写真は市川運動場）

## 意義深き祝賀行事
# 記念論文募集中
## 多數會員の應募を待つ
### 締切りは明年三月末

前号に報告した通りわが同窓会は母校創立六十周年を祝賀し記念事業として挙げて会員より学術文献の募集を実施することに決定した。

数々の祝賀行事は決して華なるお祭りごとではなく、この輝く母校の歴史を通して、廣く世界の人々に日本歯科医学に対する認識を深めてもらいたい念願にほかならない。

われわれ同窓はこの学出度い式典を飛び台として大きく明日への飛躍を期すべきであると考える。

この意味からこの記念論文の募集こそ我等会員に課された最も意義深い行事である。左記申規御熟読の上老いも若きも挙つて応募されるる様切に御願いする次第である。

〇、募集論文は未発表のものに限る

二、論文は未発表のものに限る

三、論文審査は、これを母校教授会に委託する

四、応募論文中優秀なものは歯科学報に掲載する

五、応募者会員に対し記念品を贈し感謝状を会員に対しては授賞する

六、応募論文の締切期日は昭和二十六年三月末日

## 同窓會當日
## 「臨床座談會」
### 會員の質問大歓迎

来る十一月三日記念行事第一日目に別項の通り本会総会が行われるが同日午後一時四〇分より四三時四〇分迄の二時間「臨床座談会」が開催される。

臨床関係の母校教授陣に壇上に並んで頂いて、会員諸氏から臨床諸般にわたる、もろもろの疑問、質問を提出してもらつて、答えてもらい度いと希望する教授から御しく解答を受けると云う仕組みである。

今から多くさんの質問を作つて御来会下さい。

## 學位受領者紹介

奥家廣一（日医）宇都本

この度、慶應義塾大学より医学博士の学位を得られた者は明治四十二年十二月廿日の生れ、出生地愛媛県に成長され、昭和九年三月本校を卒業された。時に『天然痘の研究』にて卒業論文賞を受賞、以来臨床に従事され、昭和十一年以来臨床に従事され、昭和十七年、本校専任科に研究生として入学、昭和十七年六月には、慶應大学医学部産婦人科（西田教授）に研究生となられた。

昭和十九年四月、研究室も、自宅診療所も共に焼失において灰燼に帰するも、終戦後再び母校に研究室開設、大学に通っての研究も進められたのは、恩師・健淡な君なればこそ出来ることであり、今年満四十才の若々しい活躍と、将来の大を期待すると共に、今回の喜びを分つて貰います。尚左記論文の中（三）と（四）はその指導になる高閣記したい。

（高橋久記）

主論文『口蓋部が口腔の形成に及ぼす影響についての研究』

（指導、西端・西田両教授）

副論文（一）『口蓋裂患者と口蓋形態との関係について、歯科学雑誌三巻一、二号（一九四六）・

（二）日本人口蓋における口蓋の研究、歯科学雑三巻二号（一九四一）

（三）猩正学士よりみたる口蓋の開閉せる口蓋について、日本矯正歯科学会々誌十一巻二号（一九四三）

（四）永久歯萌出の時期及び順序に関する研究、歯科学雑誌

（五）羽町小学校における口腔診査の最年的研究

## 田中元君の近況
### 北海道開發廳顧問に就任

歯科界から唯一人の國会代表として活躍している母校出身田中元代議士は、若手議員のエキスパートとして豪邸、厚生方面に縦横の活躍振りである

先き頃から北海道開発廳長官から顧問として嘱望されていたが、愈々近その就任を要請され、地方行政の一端にもその活躍が待望されている

田中君は母校においても東村学長のよき相談相手の一人として、また母校創立六十周年記念祝賀会の常任実行委員として官界、政界方面への母校紹介に尽瘁の労を取っています

同君の後援会も着々組織され母校の後援を御待ちしているが、同窓校友各位の一層の御後援を期待します

## 富山縣東歯同窓會

（婦人部、奥西重合）

戦災罹しの会員、恒例の東歯同窓会（学術講演会）が九月十日富山市大和ホールで開催され母校から齋藤病院長、米沢教授を迎え午前十時より午後一時迄同窓会、同一時より四時半迄講演会、先づ腰井理事長部長の挨拶、齋藤病院長より四時半迄講演会、先づ腰井理事長部長の挨拶、齋藤病院長より母校の近況と医療の報告あり、同窓会員の感色も一段と輝きに満ちていた。尚会員は今後益々厚誼を期待し親睦をはかり相助けて斯道に邁進することを誓い和気アイアイの中に散会した（富山縣同窓会幹事東歯部長山田記）

当日出席者（計二十七名）

東西支部　清野興四郎、石崎鶴吾、柳島俊一郎、新谷年彦、野木雄（以上五名）

呉東支部　滝野人、栗山実雄、杉江安雄、滝上郎吉、山崎宏三、三羽邦定、高信行、宮本乙男、農野雄、松山正男（以上富山市）石黒宗次郎、山崎安雄（以上、上新川）中山武（中新川）赤堀安三郎、塚本栄蔵、田中直次、地本巌、米沢教子（以上下新川）（以上十八名）

栄賓　齋藤病院長、米沢教授（以上母校）富山縣歯医会代表（田中事務）石山縣歯医連合代表（細川会長）

## 新潟縣
（上越支部同窓会報告）

昭和廿五年八月六日母校米沢教授を御迎えして当支部の総会を柏崎市一二三屋樓上において開催した。

当日参集する病会員ものかはと遠くは糸魚川の永野平八郎氏を初めとし新井、高田、長岡の同窓十三名、先ず鷹保支部長より開会の挨拶並に会務の報告あり、次に次年度支部長を推薦により柏崎の丸山英一氏を会長に高田の保坂正彦氏を副会長に決定、廿六年度総会開催地を妙高々原と予定して総会を閉じた。

続いて米沢教授御時の母校現況を一同かたずをのんで聴き在学当時の先生方の御消息を伺ひ、母校の発展と先生方の御健康を祈念して盃を重ね若き昔に帰る様に談笑が湧き、のど自慢が出、こと後処に笑声、歓喜渦り何時果てるとも知れざる中に東村先生、齋藤病院長への寄せ書を寄せ、米沢教授御持参の幻燈（歯の強化）を観賞し、次回を楽みに散せる名残りを惜みつつ九時閉会した。（井上記）

当日の出席者は

鷹保興、保坂正彦、石川嘉代志、竹島軍一、安藤栄吉郎、柳尾樣治、増村横治、永野平八郎、丸山英一、大橋修、鷹海昇一、石川東二、井上學

## ◇就職希望の方へ

就職を希望される会員は履歴書二通、希望條件、返信料を添えて本会宛申し出て下さい

なお本会々員を紹介したい御希望の方も採用條件、返信料を添えて御申し出下さい

## 口腔解剖學教室より

第報告を喜び、早速お願い致しました。授業資料としての扱方天然御才の嘱は同窓各位の御熱心な御感で着々集っております。紙上をかりて厚く御礼申上ます。

なお、今後我各位の御興味を得て多数の天然歯牙を収集致し度く、一層の御援助をお願いします。御協力の際は必ず名は『東京歯科大学口腔解剖学教室』と御明示をお願い致します。

# 關西風水害見舞記

病理學教室　教授　松宮誠一

（一）

九月三日関西方面を襲ったジェーン台風は昭和九年の室戸台風にもまさる猛威をふるい、同地方の被害は予想以上に甚大であった。このことが新聞紙上に報ぜられると、東村学長は見過ごしを呼ばれ、同窓の被害状況の調査と御見舞つはめ号をつかまえて、一路四へと下つた。

同窓各位の被害状況が風にかかり、超スピードの列車も、まどろかしい感じである。

薄暮暗下に入ると、そのその被害の大きさが同窓につつりはじめる気配に入ると、その被害は一層はなはだしい、倒壊、崩の破損は軒並みである。人家の倒壊も珍らしくない、台風の通路がハッキリと判るほど、一定の方向にみな倒れている。

定刻一八時に列車は大阪駅にすべり込んだ。松宮教授、片山博一先生と御手洗、禅宗清秋氏らが出迎えて下さる、駅構内の食堂に小憩して早速被害の模様をお尋ねすると、とにかく小被害はみな一様に蒙ったが、最もひどかった繁港方面には、同窓は一名もいないとのこと。

同夜は、禅宗清秋氏の御好意により清瀬堀の一旅館に泊ることとし、途中、芳賀先生の診療所を御見舞する。先生は御留守で、御子息が出てこられた。

旅館に落ついて、松宮支部長と明日の行動を御打合せて、のち宿泊員氏もお訪ね下され、歓談に夜の更けるのも忘れてしまつた。

（二）

明くればキチンとお約束の時間九時に、松宮先生が見えられ、たちに出かける、まだ夏の陽ざしがきつい、田出の窓にうつる山崎の被害状況に、今出塀さ入つてしまつた、街路樹の根ぞき、大ビルディングの窓という窓のガラスはみな打破られ、樹根のフツ飛んだ様子に多い。

まず、社三郎氏の診療所をお訪ねする、幸い同氏は二丁目の河畔にある、いつもならば涼い河風が流れてくる診療室も、こんどは倒壊の模様と一しょに医者飛はされ、同氏は大工を入れていま修理中のところであった、早速大学からの見舞に駆きかつ、激励された。

北区から福島区に入ると、また水のひかないところがある、築港方面には、なお水が五尺位あつて船でなければ行けそうもないとのこと。

福島区一帯は、泥水にまみれた家屋の清掃や、ドブ浚を化したような清掃の整理に大変である、カンカンと照る大陽にせされて、臭気がしつこひどい、何とも言いようのない感じである。

上福島の和田政吉氏（御小作、同支部会員の見舞にお出かけ）大沼徳二氏、海老江の沢田光行氏らの診療所をお訪ねする、幸いどのお家も、大した被害といつたわけでもなく、やつと安心することができた。

なおこのほかにも同窓の御宅を残らずお訪ねしたい気持はやまやまであつたが、どうしても先を急ぎ、同氏は大工を入れていま修理中のところであつた

# クラス會便り

## 東四會
（大正四年）

本紙をかりて私から御願い申し上げます。來る十一月三日が同窓会総会で四日が母校六十周年記念祝賀会であります。來賓には高松宮殿下御夫妻を始め多数の方がお臨席下さることになって居ります。母校としては前代未聞の祝会であります。此時に紀元二千六百年記念式典が行われます。私は幸校に居りますから、どちらでもよいですから御一緒下さい。尚四月の年鑑の方には人員に制限がありますから一日も早く名簿の送付を御願し、皆の思い出を回顧しながら一献かたむけ楽しと思います。

日時その他は後日母校方に御通知致しますから、奮って参加下さる様に御願い致します。（幹事一同）

## 互發會

大正八年思い出も深い水道橋畔に校舎を別つて母校、皆様から老境気と、三十一年の繁昌も夢の間に流れ去りました。日米人の平和開命をとも偽も生き抜いたことは、理屈をぬきにして先ずお慶でたい次第でありましょう。

さて、今秋十一月三、四、五日を期し、母校創立六十周年祝賀式典が挙げられることになって、目下その準備が着々と進捗しておりますが、この機会に本会々員の多数の御参列の上に、久し振りに旧交の一夜を懇親会に花を咲かせたい念願であります。どうか奮って御参加なされますようお待ち申します。

昭和二十五年九月　在京幹事会

（二一回卒）

会費の都合もあり、御出席者数の概況を予め知ればいたしたい思いますので、御手数ながら御出欠の有無を折返し御へ御連絡願えれば幸と存じます。

東京都新宿区市谷山伏町一九一〇　新窓會

（大正十二年三月卒）

## 大四會
（大正七年卒）

新緑の候、皆様方には益々御健盛のことと拝察致します。

本年は母校六十周年を迎え、記念式典が行われます。此の頃に当り、日々大四会も記念の会を開催し、皆の思い出を回顧しながら一献かたむけ楽しと思います。

大四会の開催は御上京になった上で決定いたしましょうから万障お繰り合せの上御上京遊ばされるよう願ねてお願いいたします。（齋藤　久）

## 申歯會
（大正十三年卒）

永い冷い戦争に疲れた身の方、お互に便りする手紙もなく、又会員の消息を知る機会もなく、寒じながら今日を迎えた。お互に傍観者にしなかった故郷という現実に遭遇し、唯自己を守るに汲々として来た。そして社会は百八十度変換し、我われは無用論命の様相を呈し、社会も我が国家も、未曾有の変化を来たした。この間歴月は流れて五年、やゝ社会も安定し互に落着き明るく明かになって来たこの時期に回顧してみれば、我々申歯会員が大正十二年の大震災の焼け灰をかきわけて立ち上り、大正十二年三月廿五日母校を卒業して数に廿七年、一口に廿七年というが神々永い年月で人生の半を過ぎる年月だ。校門を出る時は皆の青年、紅顔の美青年も廿七年後の現在は前髪禿頭成は薄げの会に参加しそうな人もないでもない年月だ。こうした永い間苦難以来一度も母校をみず、同級生に会うこともなく今日に及んだ人もありましょう。この廿七年間という年月は実質で何気は線状式を超えた年である。この卒業後廿七年という記念すべき年はからずも母校にとっては創立六十周年にあたるそうだ。母校は全員の同窓に呼びかけて、この秋開催年を期し、且つ十一月三、四、五日に記念式典が開催されるのである。この秋にあたっても若々を参集し、同窓に廿七年目の『クラス会』を開き一堂に会して互に健康を祝し、秋の夜長のひとときを過したいと思い、ここに会員に御通知する次第である。故北原先生の彫功会の記録の原に寄せたまたま同じ『テーブル』に坐った本間、坪、氏家、松崎、宮田、光永の七人相談して『クラス会』でもって旧交を暖めようと一決した。遅くとも本間、宮田、光永の三君とお世話を御願いする事にした次第である。もはやお孫さんのお守り父地方の霞蔵にその日を過ごしている人もありましょう。又一方には学問を、映画を母校に捧ぐて学成る日を楽しみ、或は既に卒業させて歴史に御指導の方もあろう。こうした年月の中に母校は『イ』の一番に大学に昇格した。名実共に誇った母校、これに誠意を傾けて努力して居られる関係にお目にかゝり久々に歓談しようではないか。母校は六十周年記念の記録を機に母校の充実した内容と同窓各位にみていただくそうだ。この好機にぜひ会員も一堂に会して廿七年後の老い姿、お新さん振りをみせ合うではないか。会員の中には年頃の令嬢又はお孫さんを必要とする令嬢をもって動員を考えて居られる人、又お婿さんを探して居られる方も多々あるだろう。この機に必要物を交換してとこしえに申歯会員が血でつながり母校の人柱になってはいかが。出席の御は母校に関係の御が沢山居られる必ず乗りましょう。

『クラス』会の期日、会費、会費等は委員に御一任下さい。詳細は住所はがきで通知することとする。（光永記）

## 十年會

この秋年間科達の環境の変化は随分変作が多かった。昨今自分達の心が落着くに従って、旧友の消息を知りたい気持に満される、現在廃業業者は一五二名で、その内八名は健在であるが、二三名は住所不明、四二名は死亡となっている、学位授与者は七名となっている、この度母校五十周年記念を期として、十年会を開催されるのを機として、十年会どうか万障繰合せ御参集下さい。お宿の御相談にも応じます。幹事鯨二、中村正夫、久保田正一。

## 更生會

十二月の創立六十周年のお祝には久しく離かなかった、クラス会をやり度いと思います、今のところ三日の夕を予定して居りますが準備のため出席御予定の方は是非御一報願います（北村　勝）

## 三辰會

十一月四日午後四時に総会を行います。場所は今度用は今回は酒も少しばかり用意します。労働省厚料理飲物まで（千代田区大手町一の七）至急お申込み下さい。費用は三百円、それで然も有効に愉快な宴会です。至急『ハガキ』でお申込み下さい。尚、同窓会総会当日学内に掲示します

幹事は労働省。（中央気象台時計屋）

## 更久會
（昭和十六年十二月）

暑かった夏も過ぎ涼く良き季節となりました。更久会諸兄も相変らず御活躍のことと思います。

さて、問題の『鶴子の塔』の発刊ですが今年こそは確切っていたのですが本年度会費を応募の方が僅か十名前後では、とても今年中の発刊の見込みがありません。未納の方よ、今からでも遅くはありません。御出費でも至急、大至急左記へお送り下さい。

金二百円也

東京都江戸川区小岩町三ノ一四二

九　田口芳治

## 鹿鳴會
（昭和十年卒）

鹿鳴会々員諸兄御元気で御活躍のことと思います。既に御案内の通り本年は母校創立六十周年本会もまた卒業十五周年を迎えることになりました。今秋は会員各位の多数御列席を御願して、第十二回総会を催ねて、盛大な記念祝賀会を左記により開催致します。

日時　十一月三日午後五時（同窓八総会当日）

会場　母校講堂、当日校内に掲示

会費　金七百円

地方会員で宿泊場所の予定がない方は、その旨を御通知下されば適当に考慮致します。

なお本会の幹事は幹事清宮生には学出席で御相氣御会費、現在は毎日御元氣にて御勤務なされて居られますことを御報告致します。（木村記）

## 昭久會

初秋の候諸兄には益々御盛栄のことと存じます。さて来る十一月六十周年記念祝賀式典に際し、クラス会を開催する運びですが御参加の日を御知せ下さい。また当日クラス会幹事を執行する予定ですが御

## 仁蜂會

拝啓、新秋の候益々御盛栄のことと慶祝の至に存じます。

陳者、本年は卒業満十年になりますので母校六十周年記念に際し、第十回総会を開催致したいと存じます。

何卒万障御繰合せの上御出席下さい。

一、日時　十一月四日（土曜日）午後開時

一、場所　母校橋正学教室

一、総会終了後祝賀会開催　会費三百円

尚懇親会終了後祝賀会は隣海又は伊東温泉に一泊、一献くみ交わしたく存じます。会費　千円

◎会員参加の場合は母校での懇親会終了後は伊東で行います

御参加の都合もありますので折返し御出席の有無御一報願わしたく御願いします（堀・江里死）

## 五十一期會
（昭廿年九月卒）

博覧会参加ありませんか、早いもので卒業四年五年になりました。母校も今年で六十年——十一月三日より開催に六十周年記念行事の数々が催されます。この機会に我が五十一期会も亦楽い旧交を温めたいと思います。今年こそ是非参加でも御参加下さる様心より御待ちして居ります。

会場其之他は当日御案内申します

が準備の都合あり出欠の調査及的御一報下さる様御願い致します。（五十一期会委員）

## 五十一會

（田村記）

## 一志會

会員各位すでに御承知の如く十一月三日より六十周年記念並に同窓会総会開催されます

本会におきましても旧交を温めその後の状況など語り合いたく在校幹事にて種々準備を致して居ります。

## 五十二期會
（昭廿二年卒）

秋冷の頃となりましたが、博覧会の事と存じます。六十周年記念祭がありますが、多数の諸兄御上京の事と思います。既には十一月三日に五十二期会総会を開催する予定で居りますから各場参加の都合上、御出席の方は十月三十日迄に到着するゆう御通知願います（補欠部矢島忠夫死）

## いづみ會

毎々秋の候と相成りましたが会員諸兄には益々御活躍中のことと思います。尚先日のジエーン嵐及キジア嵐により災害を蒙られた関西、四国地区の会員諸兄に対し衆心より御見舞申上げます。

扨、御承知の通り十一月には橋大なる六十周年記念祭同窓、総会がありますので之を機会に我が会も例によって総会を挙行致し度いと思いますから例年参加して居られる諸兄は勿論其他の諸兄も今回は特に万障繰合せの上総会場に馳せ参じて下さい。大いに旧交を暖めましょう。

一、会費　約三百円（会場大歌沼辺料理）

一、場所　未定に付同窓会に出席の日年前中に外科研究室「いづみ会受付」迄御連絡下さい。（補欠鶴島記）

## 珊瑚會

卒業二十周年記念クラス会開催昭和五年卒業生よりなる珊瑚会は母校創立六十周年の佳節にあたり例々卒業二十周年を迎えることとなった。

この卒前の好機に当り、東京在住の会員は盛大なるクラス会を開催すべく、目下準備中で期日、場所等は近く決定される。（松島記）

## 昭伍會
（昭和九年卒）

今年もまた同窓会総会の折を利用してクラス会を開催度いと思います、時期、場所等当日御報らせいたします、学内の三階に御連絡下さい

三崎

## いとし會
（昭廿四年度卒）

秋冷身にしみる頃となりました五十四期の皆さん、お元気ですかこちら中村助教授を初め医局の面面はりきっております。

さていよいよ秋の同窓会総会、六十周年記念祝賀を見せ合い、卒業後二年間の経験を語り合いませう。

十一月五日　午後五時より、昨年と同じ場所後楽園内涼楽亭に御集まりください。

三崎

## 五十鈴會
（昭廿五年卒）

秋色いよいよ深く日一日と心身の伸びゆくことを覚える今日この頃秋色の頃、諸兄には益々御壮健にて御過しのことと思います。御既で私達研究生も診療及びアルバイトに一日を過ごされ元気にそして多忙な毎日を送って居ります

（一）投票十一月三日同窓会総会が開催されますので五十鈴会員全員、そうして御参加下さい度く心待ち致して居ります、尚総会終了後私達のクラス会を盛大に施行致し度く準備を進めて居りますれば万障繰合せの上御出席下さらんことを重ねて御願い申上げます

（二）幹部『いすず』を近々発行致し度く思いますので各人の近況報告、その他学術文献、和歌、俳句等至急御送附下さい

（三）会費式百円也未納の方は御納入願います

（投稿より）

## 七星會

来る十一月四日、式典終了後、クラス会を開催致す予定で居ります

会場その他詳細は三日同窓会当日掲示致します

卒業四年卒十五年、是非共多数数友諸君と一堂に会し楽しいクラス会を開催致し度いと存じます

追加準備の都合上御参会の方は母校内加藤宛御一報賜われば幸甚に存じます

クラス会の計画は在京会員有志にて立案致します

## 三水會

（投稿より）

大正三年度卒業の私達は今回第三十七年目六十年記念の此際全員の『クラス会』を開くことになり夫夫御通知致しましたが是非御出席を願上ます（在京有志）

## 四海會

十一月三、四、五日は母校六十周年の記念式典が挙行されますが、その機に我々四海会の卒業十五周年のクラス会を催します。在京会員は再三集合してその準備を進めておりますが。

期日　十一月五日午後出発一泊

場所　湯河原、伊東、熱海の中で目下研究中

会費　一千円也

なお卒業十五周年記念クラス会誌を発刊します、（この費用二百円也）御出席の方は申し込みと同時に五百円をお納め下さい

申込は母校内、川木錬護宛

## 各地同窓のうごき
（その二）

### 群馬縣
（桐生市同窓会関係）

暑さも去り秋の八月廿三日母校より来医教授栗栖を親会に参加楽しみを聞く暑さにもめげず出席良好年後七時半少し過れて開会、会長挨拶に次で米医教授の活躍に満ちた熱弁でお手のものの細菌と驚効薬臨床上の参考資材を始め母校並びに関係近況等に至る迄なごやかに歓談する内卓上には巻ビールが林立、泡立つコップを重ね乍ら、引続き盛の御生に関する人スライド教材を持参されたものを観せる昔近況の攻撃であった。勿論栗栖の目的母校発会の方も見も角OK盛況裡に午後十一時散会、先生には県支部長宅に一泊翌日大田用へ（出井記）

### 群馬縣

六月二十日初夏の伊香保　木暮武大夫旅館で母校より堀村学長先生を迎え、群馬県支部総会が開かれた、集る同窓二十五名

当日は総会の前に前橋で群馬県歯科医師会主催の田代ドクトル講演会に堀村学長先生が同行せられたので前講した多数の同窓は先生にお会い出来て嬉んだ

総会は前田支部長の挨拶、既報、会計、報告、続いて県支部役員より今秋、これる母校六十周年記念祝賀の話があり、群馬支部の実行委員は別紙の通り決つた

ここで、堀村学長先生より母校の近況のお話あり

宴会となり、懇談会となる、堀村先生を中心に水道橋、氣分溢まる雰囲となり個別懇出る

翌朝は晴天、昨晩の酒宴感慨に溶しつつ帰る様色は好った

当日出席者、飯田、岡、曽村、矢内、大谷、倉林（父）宮下（兄）小倉田井、川崎、袋、田部井、宮下（弟）鈴木、太田、大野、尾崎、宮下山川、馬尻、関根、今野、磯倉林（子）西下　以上　二十五名

### お断わり

千葉縣においても去る七月二十三日、縣歯科医師会館にて総会を行つたが、紙面の都合で次号に掲載します。

祝　東京歯科大學　創立六十周年

教材プリント會誌の印刷は……お馴染の
株式會社　昭和謄寫堂
神田三崎町電停前　電話九段(33)二九三六番

クスリの御用は
親切第一主義　タナカ薬局
神田三崎区電停前　電話九段(33)七五二二番

おなじみの白衣専門店
株式會社　永井商店
神田三崎町　電話九段(33)一二四二番　一六一二番

伊勢宇
酒類商　石塚律之助
神田三崎町一ノ七　電話九段(33)二九六三番

喫茶と御食事に御利用下さい
愛光舎
松崎英一

いわしや
歯科器械薬品一般
醫科器械
上原歯科商店
神田三崎町一ノ一　東京歯科大学通り